

## 第 1 回 佐渡市地域振興推進会議 議事概要

|      |   |
|------|---|
| 日 時  | 令和 3 年 10 月 27 日 (水) 13:30~17:00  |
| 会 場  | アミューズメント佐渡 2階 文弥人形室A  |
| 参加者  | 森下修次、松田祐樹、川原繁芳、熊野礼美<br>(事務局)：佐渡市地域振興課地域振興係 中川直子、菊地 諒  |
| 議 題  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 座長の選任について</li> <li>3 議題<br/>令和 4 年度地域おこし協力隊の活用に関する提案の審査について<br/>(1) 審査に関する説明<br/>(2) 審査 (提案書及びプレゼンテーション)<br/>(3) 取りまとめ</li> <li>4 閉会</li> </ol>  |
| 議事概要 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会<br/>審査員：4 名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟大学 教育学部 准教授：森下修次</li> <li>・(特非) 佐渡芸能伝承機構 理事長：松田祐樹</li> <li>・豊岡集落：川原繁芳</li> <li>・佐渡 UI ターンサポートセンター コーディネーター：熊野礼美</li> </ul> </li> <li>2 座長の選任について <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の互選により森下修次氏に決定した。</li> </ul> </li> <li>3 議題<br/>令和 4 年度地域おこし協力隊の活用に関する提案の審査について<br/>(1) 審査に関する説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手不足に伴う課題解決のため、地域等が自主的に地域づくりに取り組む提案 6 件について、本会議で審査する。</li> <li>・審査は、書類のほか応募団体によるプレゼンテーションの時間を設け、提案に対する熱意等を聞き取る。</li> <li>・プレゼンテーションは 10 分程度とし、応募団体から提案のポイントを絞って説明いただく。その後、質疑の時間を 10 分程度設け、審査に入る。</li> <li>・審査要領に基づき審査した後、取りまとめを行い、その結果については、選定された場合、市のホームページで公表する。</li> </ul> </li> </ol> |

(2) 審査、(3) 取りまとめ

- ・審査の結果、提案6件をすべて選定とした。
- ・地域おこし協力隊を募集する地域等のうち、外海府地域については、受け入れ等のサポート役として、地域活動支援員（集落支援員制度）を配置することとする。

《 選定団体 》

1) 松ヶ崎街並み検討特別委員会

○地域等の現状と課題

集区内の家屋は現在約90軒あるが、その半数が空き家になっている。地域おこしの活動として街並み保存活動や昔の暮らしを伝える民具の展示、屋号看板の取り付け、街歩きガイドの養成などの活動を実施。地域の高齢化が進み、稼働年齢層も少ないことから今後の活動について担い手が不足している。

○地域おこし協力隊に求める主な活動内容

- ・空き家や地域の情報発信
- ・集落内の空き家調査、移住相談の窓口、お試し住宅の維持
- ・松ヶ崎集落の活性化に関すること

など

2) 生椿の自然を守る会

○地域・団体の概要

廃村になった後も2013年頃には4名の耕作者が生椿の8割方の耕作を維持してきた。そのうち2名が病気になり、残り2名を主として環境整備にあたっているが、高齢化により耕作地（トキの餌場）の維持管理が難しくなっている。そのため、後継者を育て、関係人口を増やしていくことが喫緊の課題である。

○地域おこし協力隊に求める主な活動内容

- ・生椿の棚田での米づくり、ビオトープの保全、草刈りなどトキの餌場としての管理
- ・持続可能なボランティア参加者の滞在環境の整備（ソーラー発電、コンポストトイレの設置、キャンプサイトの整備など、宿泊可能な環境づくり）
- ・体験学習やエコツアーの受入のためのシステムづくり

など

### 3) 小木特産品クラブ

#### ○地域・団体の概要

小木地区の人口は昭和 30 年度より始まった高度成長期による農村から都市部への人口流出、急激な少子高齢化もあり、人口減少が続いている。そのため、農業従事者や地場産業の担い手、後継者が不足しており、特産品の生産・販売が減少し続けている。

#### ○地域おこし協力隊に求める主な活動内容

- ・ 野菜作りや漁を通して地区の食材等の調査
- ・ 小木地区の資源を活かした商品開発、商品販売
- ・ 地域運営組織の設立支援

など

### 4) 小木まちづくり協議会

#### ○地域・団体の概要

小木地区人口は佐渡市合併当時 3806 人、高齢化率 32.8%であったが、令和 3 年 3 月末には人口 2617 人、高齢化率 46.7%であり、人口減少と高齢化率の上昇が顕著である。そのため伝統行事や環境保全活動など地域を維持する活動が困難であり、個性豊かな地区の存続が危ぶまれている。

#### ○地域おこし協力隊に求める主な活動内容

- ・ 地域運営組織（NPO 法人）設立、運営
- ・ 生活弱者や高齢者の支援、民俗文化の保全、高齢者健康年齢伸長、環境保全活動、児童の地域文化教育等の事業
- ・ 一般会員、島外会員（往還者）の創出

など

### 5) 外海府地域（鷲崎、願、北鷯島、真更川）

#### ○地域・団体の概要

農産物、海産物等の地域資源に恵まれており、地域内における生産・消費は現状では問題ないが、若者が土地を離れ、過疎・高齢化が急速に進み、豊かな地域資源の有効活用ができなくなり、自然環境の荒廃も懸念される。カンゾウ祭りをはじめとする各種伝統行事を企画、運営することが難しい状況にある。

#### ○地域おこし協力隊に求める主な活動内容

- ・ 寒ブリ大漁祭り、大野亀カンゾウ祭りなど地域内で行われる行事の運営支援と今後の課題等の抽出
- ・ 島留学に関すること

など

## 6) 子どもの元気は地域の元気プロジェクト

### ○地域・団体の概要

当団体は発足してから4年目を迎え、子育て世代が住み続けられる地域づくりをめざし活動を継続している。地域の人口減少による保育園、小中学校の存続への課題は解消していないが、地元の子どもも少しずつ増えている。また、島留学制度の導入で問い合わせも格段に増え、手ごたえを感じている。現在、隊員1名で島留学を中心とした活動サポートを実施しているが、前隊員の放課後活動や空き家活用などを兼務して活動することは難しい状況である。

### ○地域おこし協力隊に求める主な活動内容

- ・ お試し住宅（親子層向け）の整備、運営
- ・ 放課後活動の運営サポート
- ・ 島留学総合相談サポート

など